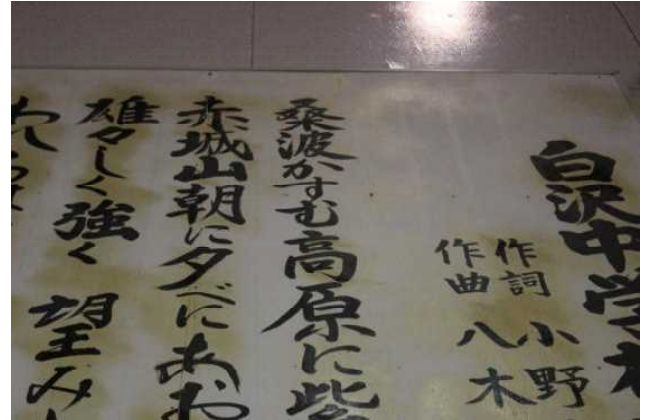
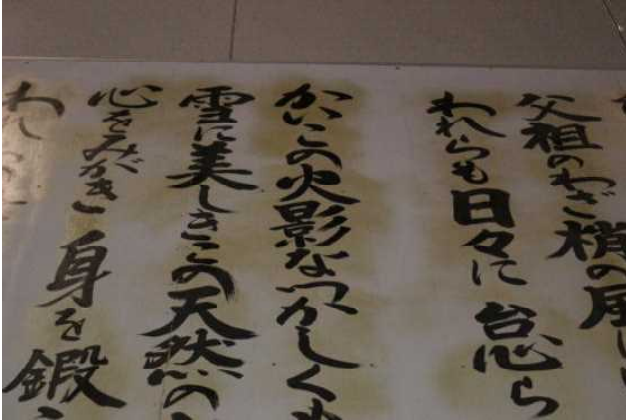


白中雑口把覧 (ザックバラン) No. 28

～ 白沢中の”今”を、ご覧ください ～

発行 令和2年10月30日

校長の白沢学その23 「養蚕その1」



白沢中学校の校歌の1番に『桑波かすむ高原に』、3番に『かいこの火影なつかしく』という歌詞があります。昔、白沢では養蚕が盛んだったことを歌い込んだものです。私の記憶の中にも、昔の白沢は国道120線沿いに桑畑が広がっていた映像が残っています。今では桑畑もすっかり姿を消し、昨年度までの片品への通勤中に見つけた桑畑は、利根町にある1カ所だけでした。



そこで白沢に残る、養蚕の痕跡を探してみることにしました。ちょっと古い地図を見ても、「稚蚕共同飼育所」という文字が目に入りました。各地区で小さい蚕を共同で育てる施設らしく、ある程度大きくなってから各養蚕農家に配付したようです。今ではこの目的では使われていないようですが・・・。



↑ 上古語父稚蚕共同飼育所



↑ 高平稚蚕共同飼育所



↑ 生枝稚蚕共同飼育所



↑ 下郷稚蚕共同飼育所

次に見つけたのが、平出の『^{こかげさんぐう いしみや}蚕影山宮の石宮』です。平出神社の奥に、ひっそりと建っていました。「ぐんま絹遺産」にも登録されているようです。



そして次に、道の駅白沢の信号を望郷の湯と反対方向に入っていくとあるのが、『蚕影山橋』。ここでは偶然にも『^{こかげやまだいこんげん}蚕影山大権現』の石碑も見つけました。

